

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.197)

1. 夜間想定防災訓練を実施しました

豊田PCB処理事業所では、24時間4班3交代の勤務体制をとっている為、夜間の火災発生を想定して、限られた夜勤者でも適切な対応が迅速にできるよう夜間想定防災訓練を実施しました。各班が一回は訓練を行うように、7月に1回、8月に3回の訓練を実施しました。この訓練では、少人数の夜勤者による初期消火活動の行動役割の確認と、消防署への119番通報および豊田市への緊急通報等の手順を確認しました。

8月27日(木)は、上記の訓練に加え、JESCOと運転会社による避難訓練を実施しました。避難場所では新型コロナウイルス感染予防の3密を避ける配慮もしました。今後も訓練を継続することで、常に防災意識を持ち、安全な操業を心掛けていきます。



2. 交通安全街頭活動を行いました



7月13日(月)に豊田市の「夏の交通安全市民運動」の一環として行われた「交通安全街頭活動」に参加しました。

豊田PCB処理事業所からはJESCO、運転会社の社員約30名がのぼりやタスキ、ハンドサインなどを掲げ、ドライバーに『安全運転』『ゆっくり停止・発進』などを呼びかけました。

屋外での活動ですが、3密にならないよう、互いに距離を取りつつ、マスクを着用して実施しました。

3. 愛知県による豊田PCB処理事業所視察

新型コロナウイルス対応として、休止していた施設見学を7月13日(月)に再開しました。7月21日(火)には愛知県庁の環境局長、環境局技監、資源循環推進監等の幹部の方々が視察されました。

PCB廃棄物の各処理工程を熱心に視察され、幹部の方々からは、施設の稼働の状況や処理の進捗状況などについてご質問をいただき、ご説明しました。

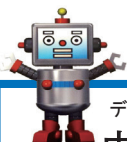
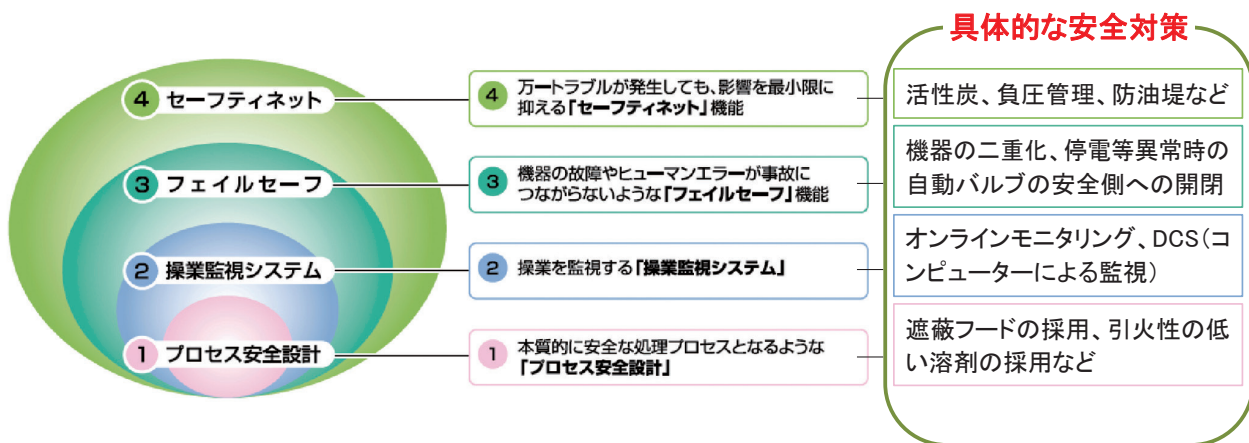


視察は、場内入り口で手指消毒を行い、マスクを着用していただくとともに、3密を避けるため、離れて着座いただくとともに、施設視察の際にもできる限り距離を取っていただきました。なお、十分な距離がとりにくい場所では説明の時間を短くして行いました。

愛知県の幹部の方々には当事業所の処理の状況等についてご理解をいただくことができました。

PCB処理事業紹介シリーズ 第38回

今月は施設における安全設計の考え方と安全対策についてご紹介します。豊田PCB廃棄物処理施設では、施設外へのPCB漏洩と施設内での火災・爆発のリスクを低下させることを前提に、以下のような多重防護構造を構築しています。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

